※令和４年度以降入学生用

学校番号	3028

令和５年度　教育文理科

教科	教育文理	科目	教育入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	自主教材						
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この授業では、実際の学校現場を想定してさまざまな演習に取り組みます。演習を通して、教育に携わるための資質について考えましょう。
・考えたことや仲間の意見などをメモし、よりよく課題を解決するための考察に活かしましょう。

２　学習の到達目標

教育に携わるための見方・考え方を働かせ、演習を通して子ども理解に関する知識や技能を習得し、よりよく課題を発見し、解決していくための資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）探究によって、課題を見出し、子どもをよりよく理解するための初歩的な知識や技能を身に付け、他者や社会との関わりについて多面的・多角的な視点を深める。
（２）子どもをよりよく理解するための知識や技能を理解し、地域や社会における教育に関する課題を自ら見出し、場面に応じて活用することができる。
（３）活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、課題解決に向けて取り組む創造的な態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	探究によって、課題を見出し、子どもをよりよく理解するための初歩的な知識や技能を身に付け、他者や社会との関わりについて多面的・多角的な視点で考えることができる。	子どもをよりよく理解するための知識や技能を理解し、地域や社会における教育に関する課題を自ら見出し、場面に応じて活用することができる。	活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、課題解決に向けて取り組む創造的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	子ども理解と演習①	・子どもの発達や心理 ・仲間づくり ・子どもの遊び	a:子どもの発達や心理に関する初歩的な知識や技能を身につけている。 b:子どもの発達や心理に関する初歩的な知識や技能を理解し、活動に取り組むことができる。 c:互いのよさを活かしながら、主体的・協働的に課題に取り組むことができる。	小テスト ワークシート 観察	発表 ワークシート 観察	観察 振り返りシート
2	子ども理解と演習②	・子どもの人権 ・コーチング ・人権に関するワーク	a:コーチングや子どもの人権に関する初歩的な知識や技能を身につけている。 b:コーチングや子どもの人権に関する初歩的な知識や技能を理解し、活動に取り組むことができる。 c:互いのよさを活かしながら、主体的・協働的に課題に取り組むことができる。	小テスト ワークシート 観察	発表 ワークシート 観察	観察 振り返りシート
3	総合演習	・これまで学んだことをもとに実際の学級で想定される様残な場面を想定してロールプレイを行う。	a:子どもをよりよく理解するために、初歩的な知識や技能を身につけている。 b:子どもをよりよく理解するための知識や技能を理解し、場面に応じて活用することができる。 c:互いのよさを生かしながら、課題解決に向けて取り組む創造的な態度を身につけている。	発表 ワークシート 観察	発表 ワークシート 観察	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度